

自分が使っていた古いスマートフォンを小学生の子どもに預け、無料のオンラインゲームで遊ばせている。子どもから「強いアイテムが欲しい」とせがまれたため、自分のクレジットカードを登録し、一度だけアイテムの購入を許可したい。課金によるトラブルが多いと聞くので、注意点を教えてほしい。

(30歳代女性)

スマートフォンやタブレット端末、家庭用ゲーム機を利用するオンラインゲームの中には、アイテムなどを手に入れるために課金が必要なゲームがあります。子どもが保護者の許可を受けずに高額な課金をしてしまった、などのトラブルが増えています。予期せぬトラブルを防ぐためのポイントをおさえておきましょう。

まず、アイテムを購入する際のルールを家族でよく話し合うことが大切です。さらにクレジットカード番号などの情報が子どもに知られないようにし、子どもが無断でクレジットカードを持ち出すことがないよう、見つかりにくい場所に保管するなど、カードの適切な管理を心掛けましょう。

また、保護者のアカウントで子どもに利用させることを避け、子どものゲーム利用を管理・保護する仕組みの「ペアレンタルコントロール」を上手に利用することも重要です。

未成年者が親の同意を得ずに高額な契約をした場合、民法で定められた未成年者取消権によって契約を取り消すことができます。しかし、保護者のアカウントを利用したり、ゲーム内の年齢確認画面で実年齢と異なった成年の年齢を入力したりして課金した場合は要注意です。アプリを運営するデジタルプラットフォーム事業者やゲーム会社から子どもが課金したという証明を求められ、取り消しが認められないケースがあります。

課金トラブルで困った場合は子どもの話をよく聞き、購入履歴を確認したうえで、最寄りの消費生活相談窓口にご相談しましょう。